
ベルサイユのばら小説

麻由美

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ベルサイユのばら小説

【Nコード】

N5399C

【作者名】

麻由美

【あらすじ】

続きます。さあ今後のオスカル様の動きに目が離せません！！遅くなりましたが、お楽しみに！！

ベルサイユのばら小説 (前書き)

さあ、いよいよ第二話が始まります。今度も目が離せない！

ベルサイユのばら小説

オスカルは14歳という若さで近衛隊の隊長に。

そして、隊長になった理由は、ジャルジェ將軍に剣を教え込まれていたからである。小さい頃からアンドレと剣の練習をしてきた。

そのおかげで腕が上達し、隊長となった。

オスカルは小さいときは本気で自分を男だと思っていた。しかし、14歳ともなるとさすがに自分は女だと自覚したようだ。

オスカルのことを書きすぎてしまった。

次はこの人のことについて書きたいと思う。

オスカルを陰で見守るアンドレ・グランディエについてだ。アンドレは幼くして両親を亡くし当時ジャルジェ家に雇^{やこ}っていた乳母のマロン・グラッセに引き取られ、オスカルと共に生活することに。

小さい頃は毎日オスカルと剣の練習をしていた。だが当然アンドレが勝てる数は少なく、ほとんどがオスカルの勝利となっていた。

アンドレはオスカルより一つ上だ。ということは14歳のオスカルと15歳のアンドレとなるわけだ。

アンドレは平民、オスカルは貴族。だが、アンドレはなぜかベルサイユ宮殿への出入りが許可されていた。

やがて二人の身分の違いを苦しめるときが来てしまうとは…。誰も知らなかったことだろう…。

第二話は二人のことで終わってしまったが、今度はアントワネットのことについて書きたいと思う。

目が離せない展開に、乞うご期待！

ベルサイユのばら小説 (後書き)

お楽しみに!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5399c/>

ベルサイユのばら小説

2010年10月20日03時17分発行